

CASBEE埼玉県

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版, CASBEE埼玉県2015年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	所沢警察署	階数	地上5F
建設地	埼玉県所沢市並木1丁目6-1	構造	SRC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	473 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2016年3月14日
敷地面積	8,069 m ²	作成者	(株)楠山設計 坂井
建築面積	2,905 m ²	確認日	2016年3月14日
延床面積	9,938 m ²	確認者	(株)楠山設計 高橋徹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4 ★★★★★</p> <p>S: A: B+: B: C:</p>	<p>★★★★★</p> <p>30% 60% 80% 100% 100%超:</p> <p>標準計算</p> <p>建設 修繕 更新 解体 運用 オンサイト オフサイト</p> <p>参照値 100%</p> <p>建築物の取組み 89%</p> <p>上記+ 以外の 88%</p> <p>上記+ 88%</p> <p>0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>コンクリート強度30N/mm³以上を採用、鉄筋かぶり厚を通常より+10mm厚くし、建物の長寿命化を行う</p>	その他	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建材は規制対象外を使用。他VOCについても放散量の少ない建材を使用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>内装仕上材は耐用年数の長いものを使用</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外構緑化指数=30.82%</p> <p>屋上緑化の実施</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI=0.591, BEI=0.83</p> <p>LED照明設備の設置</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用</p> <p>グリーン調達品目の使用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂排出率=88%</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される